

私達は日々の生活の中で、意識はしていなくても様々な契約を結んでいます。日常的な買い物も、正確には売買契約の1つ。契約とは、「お互いの意思が合致したとき」に成立する約束事ともいえます。

契約とは？

契約とは、法的な拘束力のある約束のことです。私達は日常の様々な場面で契約を結んでいます。たとえば買い物の場合は、消費者の「ほしい＝売ってください」という意思と、お店の「買ってください」という意思が一致したときに、契約が成立します。契約が成立すると、当事者には約束したことを実行する義務が生じます。この場合は代金の支払いと商品の引渡しがそれぞれの義務になります。一般的に、未成年者の契約には親権者などの保護者の同意が必要です。

○ 契約の例(洋服を買うとき)

①意思の合致

消費者と店舗の意思が合致したとき、契約が成立します。



②契約で生じる義務

代金の支払いと、商品の引渡しがそれぞれの義務です。

